

福音を伝えるミッションを続けるために - マルコによる福音書 1 章 35 節-39 節

軍隊などの大きな組織では、目的をはっきりと示すゲームプランが必要になります。軍隊では、ミッション、達成すべき目的がはっきりとある方が良く考えられています。戦闘下では、何百、何千もの異なる部隊が関与し、各部隊がそれぞれのミッション（目的）を遂行しなければ、全体的な目的を達成することはできません。ある部隊が任務に従わずに勝手なことをすれば、周囲の他の部隊に負の影響を与え、結果的に任務全体が失敗するかもしれません。しかし、戦闘下では、その任務の達成を阻止しようとする敵がいるため、その第一の任務から気を逸らしてしまうことも多々あります。キリストに従う者である私たちにも使命があり、その使命から目をそらさせようとする敵がいます。その使命は、キリストの使命に基づいています。キリストが始められ、私たちを召された使命のために、私たちはキリストに従うのです。今日の**マルコによる福音書 1 章 35 節-39 節**では、イエスと、イエスが自分の使命に集中し続けるために何をしているかが描かれています。今日、私たちは、キリストの召命が私たちに与えてくださった使命に留まるために、同じ霊的資源を持ち、それを活用すべきなのです。まず、この箇所を読んでみましょう。³⁵さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。³⁶すると、シモンとその仲間たちがイエスの後を追って来て、³⁷彼を見つけ、「皆があなたを捜しています」と言った。³⁸イエスは彼らに言われた。「さあ、近くにある別の町や村へ行こう。わたしはそこでも福音を伝えよう。そのために、わたしは出て来たのだから。」³⁹こうしてイエスは、ガリラヤ全域にわたって、彼らの会堂で宣べ伝え、悪霊を追い出しておられた。

マルコの文体は時系列を明確にしていますが、この箇所はイエスがペテロの義理の母をいやされたすぐ後に起こったと、考えられます。イエスと弟子たちがカペナウムにいたとき、イエスがシモン・ペテロの義理の母をいやし、そのことを聞いた人々が、イエスに悪霊を追い出してもらい、自分たちも癒されようと集まってきました。これは、翌朝、まだ暗い時間に起きたことです。イエスは祈るという特別なことをするために、誰もいない場所に出かけられました。これは非常に重要なことです。マルコによる福音書では、イエスが祈る場面は 3 箇所しか出てきません。この箇所と、五千人に食事を与えた時、そして死の直前のゲッセマネの園にいた時です。この 3 つにはすべて同じ要素が含まれています。まず、夜に祈っています。また、イエスは一人になれる場所で祈っています。そして、イエスのミニストリーに対する反対運動が起こっている時に祈っています。さて、このイエスのミニストリーに対する反対は、この説教の重要なポイントであり、私たちはそれについてはこの後にお話しします。しかし、その前に、イエスにとって宣教を続けるということは、まず祈りに時間を費やすことであったことを覚えてください。

考えても見てください。イエスは神なのです。御子なる神なのです。父なる神、聖霊なる神と永遠に絶え間ない交わりの中におられるのです。しかし、それでもイエスは、その人間であるという性質ゆえに、わざわざ静かな場所を探され、イエス・キリストに従う私たちにとっても父である、父なる神と語り合う時間を持たれたのです。イエスが人間であったときに、わざわざこのようなことをしているという事実は、私たちの人生において祈りがどれほど必要であることを示しています。**エペソ人への手紙、6 章 13 節-17 節**で、使徒パウロは信者たちに、サタンに立ち向かい、神に召された使命に邁進するための霊的な武具を身につけることによって、霊的な戦いに備えるべきだと語っています。¹³ですから、邪悪な日に際して対抗できるように、また、一切を成し遂げて堅く立つことができるように、神のすべての武具を取りなさい。¹⁴そして、堅く立ちなさい。腰には真理の帯を締め、胸には正義の胸当てを着け、¹⁵足には平和の福音の備えをはきなさい。¹⁶これらすべての上に、信仰の盾を取りなさい。それによって、悪い者が放つ火矢をすべて消すことができます。¹⁷救いのかぶとをかぶり、御霊の剣、すなわち神のことばを取りなさい。多くの聖書では、18 節をこれらの節から切り離していますが、実はこの節は霊的な武具の話と完全に結びついているのです。18 節では、¹⁸あらゆる祈りと願いによって、どんなときにも御霊によって祈りなさい。そのために、目を覚ましていて、すべての聖徒のために、忍耐の限りを尽くして祈りなさい。と書かれています。

祈りは、靈的な戦いに挑む際に、すべての段階で行われるべきものです。私たちが靈的な武具を身につけると、すべてを祈りと共に行うのです。それによって、サタンの誘惑に立ち向かえるように、また、私たちが従事しているこの靈的な戦いで勝利することができるように、神の御言葉を通して聖霊によって力を与えられるようになるのです。祈りによって、私たちは靈的な武具で完全に包み込まれるようになるのです。祈りは、神の御言葉の至るところで奨励され、命じられてさえているのです。テサロニケ人への手紙第一 5章17節では、¹⁷ **絶えず祈りなさい。**と述べられています。この聖書箇所は、常に祈りの状態にあることを語っています。また、一日中いつでも、どこに行っても、あなたは一人ではないことも語っています。聖霊なる神はあなたとともにおられるのです。そして、あなたが一日中そばにいる別の人と会話を続けるように、神とも会話を続けられるのです。私たちは一日中、神とこのような継続的な会話、祈りをしていなければならないのです。それは、ただ一度だけの決まった時間ではないのです。しかし、イエスご自身が示された模範によって、特定の中断のない定期的な祈りの時間もあるべきだということが分かります。静かな場所で、神と語り合い、神に心を注ぎ、神の御言葉を黙想しながら神に耳を傾けるような、そんな時間をあなたは持っているでしょうか？私の場合、今日は忙しくてそれどころではない、と言いたくなる時が多々あります。実際に言葉でそう言わなくても、一日の私の行動がそう言っている時があります。忙しすぎるのが、私たちがこの現代社会で直面する最大の課題です。しかし、これから見るように、イエスはこの祈りの時間を作るために必要なことを全てしているのです。この前夜も遅くまで忙しくしており、この箇所に続くように、この日も用事があってイエスは時間のない状態にありました。しかし、イエスにとって祈りはとても重要であり、祈りが必要だったので睡眠時間を削っています。もし私たちが、キリストに従い、弟子を作ることによって神の国を建設するという、神から与えられた使命を守ろうとするならば、それを実践するために、私たちも祈りの人でなければならないのです。

しかし、イエスの祈りの時間は弟子たちによって中断されてしまうのです。36節から37節は、³⁶ **すると、シモンとその仲間たちがイエスの後を追って来て、³⁷ 彼を見つけ、「皆があなたを捜しています」と言った。**と書かれています。またしても、シモンがイエスの邪魔をしており、シモンは非常に悪い人のように描かれています。これらの節には、二つの類似した考え方があります。まず、弟子たちはイエスを「追って来て」いるのです。次に、弟子たちはイエスに、「皆が捜しています」と言っています。これだけを見ると、良いことのように聞こえますが、これらの言葉は、新約聖書ではほとんどどこでも否定的な意味で使われています。一般的には、危害を加えるつもりで誰かを捜しているという意味で使われているからです。もちろん、弟子たちはイエスを苦しめるつもりはないし、人々も、少なくともこの時点では、イエスに危害を加えるためにイエスに会いたがっているわけではありません。しかし、作者マルコが聖霊の権威の下で、このような特別な言葉を選んだ理由は、イエスを見つけない理由が純粋なものではなかったからなのです。彼らはイエスを間違えた理由で探していました。マルコの福音書で、イエスが祈られた3つの箇所は、すべて反対運動が起こっていた時であったと先ほど言いましたが、間違えた理由でイエスを探しているというのが、この箇所でのイエスのミニストリーに対する反対運動だったので、この反対運動は、他の二つの箇所と比べると非常に軽微なものです。イエスを殺そうと積極的に画策する人々がいるような反対運動ではありません。しかし、ペテロや他の弟子たちが、イエスを見たいという民衆の願いにイエスが応えるべきだと考えていること自体、実は、弟子たちが、イエスが地上にこられた使命の要点を見逃しており、意味のないことをイエスに押し付けようとしていることを示しています。

もちろん、彼を探している人々は誰も、彼を任務から引き離そうなどとは考えていませんでした。ただ、彼らはイエスへの愛情を示していたつもりでした。また、彼らはイエスの力をもっと体験したかっただけなのです。前夜、イエスは一人の女性をいやし、その後、何時間もかけて悪霊を追い出し、ペテロの家に次々と現れる多くの人々をいやしました。彼らはイエスを愛していました。しかし、愛する理由が間違っていたのです。もし、イエスが、奇跡を見たい、体験したいという彼らの願望に応えることに時間を費やしてしまっていたら、イエスは地上に来た目的を

果たせなかったでしょう。弟子たちが理解できなかったこと、そして残念なことに、今日、教会にいる私たちも理解できていないことは、奇跡のような出来事を見たいという群衆を集めるだけでは、成功のしるしにはならないという点です。今日、私たちが召されているミニストリーやミッションについても同じことが言えます。これらのことは、イエスの宣教の目的ではなく、むしろイエスの宣教を邪魔するものだったのです。イエスにとって、**宣教にとどまる**ということは、**第二に、単に良い宣教の機会があるという事実**に惑わされないことでした。イエスは、自分の奇跡を見て熱狂する人々を、自分たちのメシアであり救い主であるイエスへの真の信仰を持った人々と決して混同しませんでした。実際、イエスは自分の時間に対する彼らの要求を、真の信仰に反対するものと見ていました。

だからこそ、この出来事を締めくくるに当たって、イエスは自分の第一の使命に集中し続けているのです。38節から39節を見てください。³⁸ **イエスは彼らに言われた。「さあ、近くにある別の町や村へ行こう。わたしはそこでも福音を伝えよう。そのために、わたしは出て来たのだから。」**³⁹ **こうしてイエスは、ガリラヤ全域にわたって、彼らの会堂で宣べ伝え、悪霊を追い出しておられた。**イエスの悔い改めと信仰のメッセージをすでに聞いた町にこれ以上留まってしまうと、福音を宣べ伝え、悔い改め、メシアを信じるように呼びかけるというイエスの使命から、かえって遠ざかってしまうことになったのです。イエスは決して屈しませんでした。私たちが見るように、**イエスが宣教にとどまった第三の方法は、前進し続けること**にありました。イエスは、自分に従う群衆の魅力に惑わされたり、自分のなすべきことに疑いを抱いたりすることはしませんでした。イエスは、見せ物をするために、信仰による癒しをしたのではありません。神であるがゆえに、メシアであることを証明するために、そうしたのです。しかし、人々はメシアとしてイエスを信じて、彼のところに来たのではなく、見せ物を見るため、病気を癒してもらうために、彼のところにやって来ました。しかし、イエスは、日頃から祈りの中で語りかけていた父なる神のご計画と目的に全面的に頼り、このような人々に惑わされることなく、ただ自分の使命を遂行し続けたのです。イエスは、人々が見せ物を見るため、また、ひょっとしたらイエスを地上の王にしようとして、人々が集まってきたカペナウムを離れ、ガリラヤの大きな地域の他の町々をすべて回られました。それらの町々で、イエスが悪霊を追い出すようなことをされたのは事実です。なぜなら、悪霊を追い出すことで、イエスのメシアとしての力が示され、福音を宣べ伝えるという、イエスが地上に来た第一の目的を果たせたからです。彼はすべての礼拝所に入り、他の場所でしたと同じように、自分がメシアであり、旧約聖書の預言の成就者であることを人々に教えました。本書ですでに何度か見てきたように、イエスは、人々が罪を悔い改めてイエスを信じるなら救われると教えたのです。

弟子たちはここで重大な過ちを犯しました。彼らはイエスに、その人気に乗じて、もっと奇跡を起こしてほしいと思ったのです。しかし、それはイエスの使命ではありませんでした。私たちの教会において、私たちはキリストに従う者であり、私たちの目から見て、宣教や奉仕をするための良い機会だと思っていることがあります。しかし、私たちは常に、新しい信者と新しい教会が誕生するのを見ることによって神を賛美するという私たちの全体的な使命に照らし合わせて、それがどのように貢献するのかを問うべきなのです。キリストに従う個人として、またキリストの教会として、私たちが果たすべきなのは、大宣教命令に従うことなのです。個人として、教会として、小さなこと、たとえそれ自体は良いことであっても、それらに気を取られ、私たちの使命から外れてしまってはならないのです。イエスの第一の使命は、奇跡を起こす人になることではなく、贖い主となることでした。それこそが、今日、イエスがあなたがたに望んでおられることなのです。イエスが地上で行った、そして今日も行っている最大の奇跡は、病人を癒すことでも、悪霊を追い出すことでもありません。それは、霊的に死んでいる罪人たちを、イエス・キリストのうちに、ご自身のうちに、新しい命によみがえらせることなのです。これは、あなたが自分の罪を悔い改め、イエス・キリストを主、救い主として従うときにもたらされます。もしそうしたことがないなら、今日みなさんはそうされますか？

みなさんの中で、イエス・キリストに従っている方、罪を悔い改め、イエスを主であり救い主であると信じ、イエスに従ってバプテスマを受けた方は、今日、この聖餐式にお招きいたします。私はビジネスミーティング、あるいは教会員の会合といった方が正しいかもしれませんが、このミーティングの前に聖餐式を行うことを大切にしています。なぜならば、この食事は、私たち全員が共同で取り行っているもので、教会としての私たちをひとつにするからです。私たちはみんな罪人であり、キリストは私たちの罪のために死んでくださりました。キリストの体は砕かれ、キリストの血は私たちのために流されました。私たちがイエスにおいて分かち合っていることに比べれば、私たちのすべての違いや意見の相違は小さなものにすぎません。イエスは、私たちのために死ぬことによって、私たちの贖い主となるために、この地上に来ました。もし、あなたがイエスを救い主、主として知らないなら、あるいはバプテスマを受けていないなら、この聖餐式に参加しないようにお願いします。私が祈った後、執事たちが礼拝堂の四隅からパンとジュースを配りますので、みなさん一緒にジュースを飲み、パンを食べましょう。では、祈りましょう。

Mark 1:35-39 Staying on Mission

In the military or any large organization really, ideally you want a game plan that shows your purpose. In other words, in military terms you want a mission, an objective to accomplish. In a combat environment, there are hundreds and possibly thousands of different military units involved in accomplishing that mission and each part relies on the other units doing their missions so that the overall objective can be reached. If one unit goes off and does its own thing without following its mission, that will affect the other units around them and could end up causing the entire mission to fail. But in the fog of war, it is easy to get distracted from that primary mission since there is an enemy trying to stop you from accomplishing that mission. As followers of Christ, we are on mission as well, and we also have an enemy who tries to get us distracted from that mission. That mission is based on Christ's mission. We follow him in the mission he started and called us to. In today's passage in [Mark 1:35-39](#), we see Jesus and what he does to stay focused on his mission. Today, we have and should utilize those same spiritual resources to stay on our mission that Christ's call on our lives has given to us. Let's read this passage as we begin. ³⁵ **And rising very early in the morning, while it was still dark, he departed and went out to a desolate place, and there he prayed. ³⁶ And Simon and those who were with him searched for him, ³⁷ and they found him and said to him, "Everyone is looking for you." ³⁸ And he said to them, "Let us go on to the next towns, that I may preach there also, for that is why I came out." ³⁹ And he went throughout all Galilee, preaching in their synagogues and casting out demons.**

While Mark's style doesn't always make the timeline clear, it does seem here that this passage is intended for us to see this happening right on the heels of the passage before this where Jesus healed Peter's mother in law. Remember that he and his disciples were in Capernaum, where he had healed Simon Peter's mother in law and then people heard about it and many had gathered to see him heal and cast out demons and be healed themselves. Now it is likely the next morning, very early, because it is still dark. Jesus goes out to a place where no one else is to do one specific thing – pray. This is significant. There are only three places in Mark where we see Jesus pray. Here, following the feeding of the 5000, and in the Garden of Gethsemane right before his death. All three of these contain the same elements. They occur at night. They happen in a solitary place where he can be alone. And they happen during a time of opposition to Jesus's ministry. Now this opposition to his ministry is a key point of this sermon, and we will be discussing it in a bit. But first we need to see that for Jesus, **staying on mission meant FIRST spending time in prayer.**

Think about this for a minute. Jesus is God. He is God the Son. He is in eternal constant communion and fellowship with God the Father and God the Holy Spirit. But still, Jesus, in his humanity went out of his way to find a quiet place to spend time talking to His Father, who is also our Father if we follow Jesus Christ. If Jesus himself needed this in his humanity, how much more do we need prayer in our lives. In [Ephesians 6:13-17](#), the Apostle Paul tells believers that we should be prepared to do spiritual warfare by putting on our spiritual armor that will allow us to stand against Satan and press forward in the mission that God has called us to. **13 Therefore take up the whole armor of God, that you may be able to withstand in the evil day, and having done all, to stand firm. 14 Stand therefore, having fastened on the belt of truth, and having put on the breastplate of righteousness, 15 and, as shoes for your feet, having put on the readiness given by the gospel of peace. 16 In all circumstances take up the shield of faith, with which you**

can extinguish all the flaming darts of the evil one; 17 and take the helmet of salvation, and the sword of the Spirit, which is the word of God... Many versions will then separate verse 18 from those verses, but it actually is tied completely to the spiritual armor. Verse 18 says, 18 praying at all times in the Spirit, with all prayer and supplication. To that end, keep alert with all perseverance, making supplication for all the saints.

Prayer is what should be happening at every step in this process of arming ourselves for spiritual warfare. As we put on our spiritual armor, we do it all with prayer that we will be empowered by the Holy Spirit through the Word of God to stand up to the temptations of Satan and be victorious in this spiritual war we are engaged in. Prayer wraps itself completely around our armor. Prayer is encouraged and even commanded all through the Word of God. 1Thessalonians 5:17 even says, 17 pray without ceasing... This speaks of being in a constant state of prayer. It is acknowledging that everywhere you go, anytime of the day, you are not alone. God the Holy Spirit is present with you. And just like you would carry on a conversation with another person you were around all day, God is no different. We should be in this type of ongoing conversation, prayer, to him all day. It is more than just one set time, but by Jesus's own example, it should be regular times of specific uninterrupted prayer. Do you have that quiet place, do you have that time with God where you talk to him and pour out your heart to him, and hopefully it includes listening to him as you meditate on God's Word? I know that for me there are too many times where I'm tempted to say I'm too busy for that today. I may not say that with words, but the way I prioritize my actions throughout the day say that. That is probably the biggest challenge we face in this modern world. But as we will see, Jesus does what he has to do in order to make this time for prayer. He was up late busy the night before this, and as the passage continues, his time is even cut short because of his business on this day as well. But prayer was so important to him that sleep lost out to his need for prayer. If we are going to stick to the mission that God has given us of following Christ and building the kingdom of God by being faithful to make disciples, then it will require us to be people of prayer.

But then we see Jesus's time of prayer get interrupted by the disciples. Verses 36-37 say, ³⁶ And Simon and those who were with him searched for him, ³⁷ and they found him and said to him, "Everyone is looking for you." Once again it is Simon Peter who is seen doing the interrupting, and really this is putting Peter in a negative light. There are two similar ideas in these verses. First the disciples are "searching" for Jesus. Then they tell Jesus that the people are "looking" for him. Now this sounds like it is a good thing, but these words typically have a negative meaning nearly everywhere they are used in the New Testament. They typically carry the meaning of searching for someone intending to do them harm. Now, of course, the disciples don't intend to harm Jesus, nor do the people want to see Jesus in order to harm him, at least at this point. But the reason that the author, Mark, under the authority of the Holy Spirit chose to use these particular words in this way was to show that the reasons for wanting to find Jesus were not pure. They were searching for the wrong reasons. This is the opposition to Jesus's ministry that I was talking about when I said that the three times Jesus prayed, it always involved opposition. This opposition is subtle. It is not as clear cut as people actively plotting to kill him will be later. But this apparent need that the Peter and the other disciples see for Jesus to respond to the people's desires to see him is actually them missing the point of his mission and trying to push him to do something that is not the point of his being on earth.

Of course, none of these people looking for him were thinking that they were pulling him away from his mission. In fact, to them, they were showing their love for him. They just wanted to experience more of his power. Remember, this follows on from the night before where Jesus had healed a woman then likely spent hours casting out demons and healing many people who kept showing up at Peter's house. They love Jesus, but for the wrong reasons. They actually were missing his purpose in coming to earth, and if Jesus spent his time catering to their desires to see and experience miracles, then he would have been off course on his reason for being on earth. What the disciples failed to understand, and many times unfortunately, we today in churches fail to grasp is that just gathering a crowd of people who want to see an event is not a sign of success or even an aid to the ministry and mission we are called to. These were distractions to Jesus's ministry, rather than the point of Jesus's ministry. **For Jesus staying on mission meant SECONDLY not getting distracted by good ministry opportunities.** He did not confuse the people's enthusiasm over seeing his miracles with true faith in him as their Messiah and Savior. In fact, Jesus saw their demands on his time as opposing true faith.

This is why as this event concludes, Jesus stays focused on his primary mission. Look at verses 38 -39. ³⁸ **And he said to them, "Let us go on to the next towns, that I may preach there also, for that is why I came out."** ³⁹ **And he went throughout all Galilee, preaching in their synagogues and casting out demons.** To stay any longer in a town that had already heard Jesus's message of repentance and faith would actually take away from his mission of preaching the gospel and calling people to repent and believe in himself as the Messiah. Jesus never wavered. As we see the **THIRD way he stayed on mission was to keep going.** The appeal of crowds following him did not appeal to him or cause him any doubt about what he should do. He didn't come to be a faith healing act that people would come watch. He did those things because he was God, to prove that he was their Messiah. But the people were not coming to him in real faith in him as Messiah, but wanting to see a show or to have diseases healed. Fully relying on God the Father's plan and purpose, whom he regularly spoke to in prayer, he did not get sidetracked by these other opportunities and just kept going with his mission. Instead of staying there where crowds wanted to see a show, and perhaps be the first to try to make him an earthly king even, **Jesus leaves Capernaum (Circled ON THE MAP in red) and goes through all the rest of the towns of the bigger area of Galilee (in Orange).** In those towns, it is true that he did things like cast out demons. He showed them his power as Messiah, because it proved his primary reason for being there – preaching the gospel. He went into all their places of worship, and just as he had everywhere else, taught the people that he was the Messiah, he was the fulfillment of Old Testament prophecy. As we have seen several times in this book already, He preached that they could be saved if they would repent of their sins and believe in him.

The disciples here made a serious error. They wanted Jesus to take advantage of his popularity and perform more miracles. But that was not his mission. In our church, we are all followers of Christ, and each one of us sees good opportunities for ways to minister and serve. But we should always be asking, how does that contribute to our overall mission of glorifying God by seeing new believers and new churches come into existence?... to briefly summarize our vision statement. It is the Great Commission that should we should be seeking to fulfill both as individual followers of Christ and as His Church. It is so easy to get distracted as individuals and as a church with little things,

even good things, but then having those things take us off our mission. Jesus's primary mission was not to be a miracle worker, but to be a redeemer. That is who he wants to be for you today. The greatest miracle that Jesus performed on earth and still performs today is not healing the sick or casting out demons, although he still can do both of those. But it is raising sinners who are spiritually dead back to new life in himself, in Jesus Christ. This comes when you repent of your sins and follow Jesus Christ as Lord and Savior. If you have never done that, will you do that today?

For those who are followers of Jesus Christ, who have repented of sin and believe in Jesus as Lord and Savior, and been baptized in obedience to him, I invite you to join with us in this communion meal today. I like to do this before business meetings, better called member's meetings because this meal unites us as a church in the one thing we all share in common. We are sinners, and Christ died for our sin. His body was broken, and his blood was shed for us. All our differences and disagreements are small when compared with what we share in Jesus. This was his purpose in coming...to become our redeemer by dying for us. If you do not know Jesus as Savior and Lord or have not followed him in obedience by being baptized, then I would ask you to not participate in this meal. After I pray, the Deacons will serve the bread and the juice from the 4 corners of the sanctuary, and we will eat and drink together. Let's pray.